

令和元年度 茨城県校友会定時総会

令和元年6月16日（日）、水戸京成ホテルにおいて令和元年度茨城県校友会定時総会が、54名の参加者で開催されました。

<定時総会>

はじめに校歌斉唱、次に任期を終える森永和男県校友会会長（59回）から退任の挨拶がありました。

続いて、来賓としてお越しいただいた近藤勝洪校友会会長にご挨拶を賜りました。近藤会長は本学の現況、特に歯科技工士などのパラデンタルも含めた受験者数、学生の育成、そして歯科の果たす役割についていねいにお話してくださいました。さらに、卒業生に対するジュビリー制度、校友会の現況、特に共済金・会員功労金などの制度変更について、また、本学創立と歴史のエピソードについてお話してくださいました。

その後、高野秀勝会員（80回）を議長に選出して議事に移り、会計・共済報告に続いて役員改選を行い、野掘幸夫会員（66回）を会長に選出、大幅な理事改選の提案がなされ可決されました。

<学術講演会>

本学75回の卒業で東京医科大学茨城医療センター

歯科口腔外科の松尾 朗 教授を講師にお迎えし、「リスクからの解放：2019インプラントの旅」の演題でご講演いただきました。

安心で安全なインプラントを目指すための最新の技術・知識について、さらに口腔外科全般について豊富な臨床経験をもとにわかりやすく解説いただきました。

<懇親会>

朗らかな後藤 勉 県校友会副会長（68回）の司会のもと、近藤会長からユーモアたっぷりのご挨拶で懇親会を開会しました。

近藤会長の意外な一面に会場は和やかな雰囲気となり、松尾教授のご挨拶もジョークの連発となりました。最後に政界復帰を目指し活動を再開した西村正美元参議院議員（78回）のご挨拶をいただきました。

丸山宇一会員（57回）に乾杯のご発声をいただいて賑やかな宴は幕を開けました。笑い声の絶えない懇親会は名残惜しくも盛況のうちにお開きとなりました。

（飯島重樹・77回記）



令和元年度 茨城県校友会定時総会 令和元年6月16日 於 水戸京成ホテル